祝 町制施行10周年

徳地町報

発行所 徳地町役場
発行者 徳地町
編集者 河村績
印刷所 今澄印刷所

焼いて泣くより
焼かない工夫

町のあらまし

本町は、昭和30年4月1日、旧出雲、八坂、島地、串、柚野の5カ村による合体合併で誕生した町で、その面積は、二八八、三九平方キロメートルという全国屈指の広面積を有し全国に稀な一郡一町を形成している。

町制施行当時は人口も二万を越えていたが、その後、社会的諸原因で逐年人口減をきたし、本秋施行せられた国勢調査の結果による人口概数は、ついに一四、一九三人（世帯概数三、五七八世帯）となつている。

本町の主要産業は農林業を中軸としているが、近時農業の機械化も漸次進展をみつつある反面、専業農家は逐次減少し、農業の多角化、兼業化が増大しつつある。

また、四季を通じて周南地域等に農外現金収入を求めて出稼者も多く、構造改善と相まつて農家の性格も変化のきざしをみせている。

町は、町百年の大計のため、毎年多額の造林費を投じて積極的に造林事業と取り組んでおり、広大な町有林の施業計画を樹立し、公団造林、分収造林、直営造林等を積極的に推し進めつつある。

かくして、三十年〜五十年先の本町は、明るい山の幸に包まれた平和で豊かな町として、永く子孫に受けついでいかれる事と信じて疑わない。

町制施行十周年記念行事

1 11月30日午前10時半、町立堀中学校体育館で記念式典並びに祝賀会挙行
2 町制要覧の発行
3 地区民体育祭（完了）
4 11月28日、徳地町剣道大会
5 12月1日、中学校音楽会を堀中学校で開催
6 12月3日、畜産共進会を役場前広場で開催
7 12月4日、駅伝競走の実施
8 11月30日から5日間、中央公民館で町民芸術展を開催

◎そのほか、酒米展示会、農協家の光大会などが計画されている

風雪十年の歴史

町の歩みをふり返える

昭和三十年

。四、一、町制施行なる。
。四、三〇、初代町長に伊藤三樹三氏就任。
。五、一七、町制施行後、初の町議会を開催、初代町議会議長に粟屋且己氏選任され、町議会の各常任委員会の構成なる。
。五、一八、初の教育委員会で、初代教育委員長に片山伝助氏が選任さる。
。五、二〇、農業委員会委員の選挙が行われた。
。六、八、付けて、柚野、八坂、島地、串の各支所長発令さる
。六、一五、民生委員の一人一世帯更生運動を展開。
。七、二六〜八、一まで、靖国の遺児たちの社頭対面があり遺児代表九名が参加する。
。八、二二、佐波郡連合婦人会では、初の指導者研修会開催
。八、二三、徳地町社会福祉協議会が結成さる。
。九月の町議会で、和田村、南陽町の合併反対が決議された。
。九、二六、より町内五地区において戦没者慰霊祭を開催。
。九、三〇、台風二二号により、家屋の全半壊九、非住家一四棟、床下浸水二〇戸などの被害を出したが、佐波川ダムのお蔭で最少限度の被害にくいとめることができた。
。一〇、一、全国いつせいに行われた国勢調査の当町の世帯人口概数が、四、二四七世帯、二〇、〇八四人と発表された。
。一〇、五、大字巣山地区を分離し鹿野町へ合併を決議さる
。一〇、七、中央公民館で、公民館結婚第一号が行われた。
。一一、一、町有林の造林計画が策定せられた。
。一二、二六、柚野地区の公共建物が全部落成する。
。一二、三〇、町立堀小学校の改築工事の起工

昭和三十一年

。三、二五、町役場職員六〇名は、大原湖周辺に吉野、染井桜など約八〇〇本の植樹をした。
。本年新嘗祭用の献穀田奉耕者が八坂地区、原勇氏に決定した
。三、三一、大原湖に長野県諏訪湖から公魚（ワカサギ）の種卵一、〇〇〇万粒を取りよせ放流した。
。四、一、八坂小学校引谷分校が小学校に昇格した。
。四、一三、長者ガ原および横山地区に禁猟区設定さる。
。七、一三、堀小学校の改築工事落成する。
。七、二六〜三一の六日間、第七回靖国の遺児代表一〇名、社頭対面のため参拝する。
。八、五、島防部四Hクラブ代表一〇〇余名、白石山キャンプ場で野外訓練を実施する。
。八、二九、県下のトップをきつて、遺児後援大会が開催せられた。
。九、一七、第一回社会福祉大会が島地において開催せられた
。一〇、一、付、新法律による教育委員の任命が行われた。
。町の観光広報映画「私たちの町」が完成する。
。一〇、八、新嘗祭献穀斉田の抜穂式が船路の原勇氏の奉耕田で小沢知事以下の奉仕で古式にのつとり行われた
。一一、一二、原因不明の火災で柚野中学校が一部焼失した。

昭和三十二年

。三二年一月、町建設審議会委員の人選きまる。
。二月、徳地東部地域、農村振興協議会が作られた。
。三、三、母と子のつどいが開かれ、結婚改善など話しあわれた。
。三、一〇、町の教育関係者が集まり、教育祭が行われた。
。三、一九、町立八坂小学校の改築工事竣工
。三、二一、重要文化財、月輪寺薬師堂の上棟終る
。三、二一、佐波川ダム竣工式行わる。
。四月、町立堀保育園竣工
。四、一五、高瀬橋（船路）工費六二〇万円で竣工する。
。四、二一、山口県知事選挙執行され、投票率七六％強だつた
。四月、上村、遠内の二保育園が町営保育園として認可さる。
。七、四〜五の両日、柚野中学校で、第六回全国へき地体育研究大会が開催され、全国より関係者二〇〇名が参加研究された。
。七、二五、県立佐波高校で、全国高校相撲選手権大会山口県予選が行われた。当日は才谷出身の今の栃忠（友景通忠）も出場した。
。柚野地区大上路に一、二〇〇㎡のかんがい用溜池完成する。
。九月、工費一四五万円で小古祖公民館が完工した。
。一〇月、重要文化財、薬師堂の竣工式と開帖大供養行わる
。一一、五、山口図書館佐波分館が町に移館され、町立図書館として誕生した。
。一二、二五、町立八坂保育園が開園した。

昭和三十三年

。一、一五、防石鉄道堀駅の新築なり営業開始さる。
。二、六、町道二宮―新田線の新田橋が工費三六〇万円で竣工した。
。四月、全町皆保険の実現をみる。
。四月、岸見の石風呂が申請どおり国の重要民俗資料として指定せられる。
。五月、大原湖に公魚（ワカサギ）種卵二〇〇万粒、源五郎フナ一万尾など放流、中の島には、つつじ二〇〇本を植えた。
。五、二二、の衆議院議員総選挙では、投票率八三％の成績で無事終了した。
。五、二八、白井田橋（石曽根―中村）が一七五万円で竣工
。六、三、二回目の農業委員選挙が行われた。

（※裏面につづく）

町制施行十周年に当りて

徳地町長 長嶺政男

時代の進歩発展に伴ない、広域行政による事務の効率化をはかり住民の福祉増進に資するため、旧各村間でそれぞれ熟慮検討を加えた結果、ついに合体合併が決議せられ、昭和三十年四月一日徳地町の誕生をみてより、早くも十周年を迎え、今日の佳き日をトして記念式典を挙行いたしますことは誠に欣快至極に存じますとともに各位とともにご同慶に堪えません

わが徳地町は、旧出雲村ほか四カ村よりなり、全国的にも稀にみる一郡一町、しかも全国屈指の大町であります。

町是は和をモットーとし、町民は一致協力その持てる力を発揮して、教育施設、交通網の整備、厚生、産業等各方面に懸命の努力をいたし今日のわが町を築きあげたものであります。

このことは、すべて町民各位の愛町の熱意によるご支援、ご協力の賜でありまして、ここに深甚なる敬意を表し、深く感謝申しあげる次第であります。

さてこの十年をふり返つて考えますとき時代の進歩は急速そのものので、本町の主要産業である米麦作についてみましても、近来、高級動力機械の導入、化学肥料、薬剤の投入等により、生産基盤や労力の問題、農村における消費生活の増大、農家の後継者問題等、幾多の難問題が山積し、これら難問題の打開は決して容易なことではありません。

町民各位とともにこの点に深く留意し、自立農家の育成と農家の余剰労働力の調整策、造林事業の積極推進による山林資源の造成また本町の実態に即した観光資源の総合開発の具現等に向つて、鋭意邁進すべきときであります。

政府においても今日ようやくにして、奥地山村振興には強い施策の実施を考えていますので、本町としてもその線にそい、基本方針と計画を樹立して、その指定を受け明るく、住みよい町づくりと町民の福祉増進のため、大きく前進したいと決意しております。

この上ともに、各位の一層のご支援方よろしくお願いいたします

私は、十周年記念式典を迎えるに当り、いよいよその責務の重大さを痛感いたしますとともに、さらに決意を新たにし、町政伸展に懸命の努力を傾注する覚悟であります。

ここに所信の一端を申しのべて町民各位のご健康とご多幸を祈念し、あわせて町勢の益々発展を念願いたしまして、ごあいさつといたします。

・七、一、町立柚木小学校の新築工事が、一、一一〇万円の工費で見事完成した。
・一〇、一五、第十回全国学校植林コンクールで、県立佐波高校に、県下初の農林、文部両大臣賞が贈られた。
・一一、一五、島地駐在所の建築が工費八〇万円で完成する。
・一一、一五、北野備が工費三五〇万円を投じ完成した。

昭和三十四年
・二、一九、県警察本部のブラスバンドが来、八坂、島地の各小学校のよい子たちを慰問演奏した。
・三、二二、町立八坂中学校が落成した。全校は一、一八八万円の総工費で藤岡組の請負で施工せられた。
・四、二三、県議選挙施行され、斉藤亀治氏が当選した。
・四、三〇、には、町長、町議選挙が行われ、町長は伊藤三樹三氏が当選、町議選挙は小選区制で二六名の新議員が選出された。
・七、七、町立堀中学校の建築が、総工費二、六七八万円を投じ三協興業KKの請負施工で完工した。
・一二、一、佐波警察署が防府署に統合せられ、新しく徳地警部派出所と看板をぬりかえて発足した。
・一〇、一、全国いっせいに国勢調査が行われたが、その結果当町人口は三、八一三世帯、一九、三三九人であった。

昭和三十五年
・一、世界農林業センサス実施
・二、二月、米作り山口県一に島地々区の井原巌さんが選ばれたが、全氏は一〇アール当り七二五、九キロの収量をあげ、この栄冠をかちとったのであった。
・二月末、待望の福祉年金の支払らいが始まった。
・三月、島地、堀小学校に待望の給食施設が完成した。
・三、六、佐波地区木炭品評会が八坂中講堂で開催せられた
・三、二一、山口営林署の要請もあり、国民健康保険治療所が開設される。
・七、八、町内全域に三〇〇ミリという集中豪雨があり、被害総額二億三千万円という大被害をもたらした
・一二、一、全国いっせいに国勢調査が行われたが、その結果当町人口は三、八一三世帯、一九、三三九人であった。

昭和三十六年
・一、二九、町長、伊藤三樹三氏は、県立、防府中央病院に入院加療中のところ逝去さる。町は町葬の礼をもって執行、二月一一日、堀中講堂において、厳かな町葬が営まれた。
・町は三十五年末、町民税の大幅減税をきめ、三五年四月にさかのぼって実施した。
・三、一七、町長および町議補欠選挙（一名）が行われ町長に岡嶺政男氏（前助役）が当選。
・三、二九、町議会で、助役に栗屋且吉氏の選任が承認せられた。
・五、一四、農業委員会委員選挙執行された。
・八、四、職員で町政史上、初期的な社会教育主事の設置が定められた。
・徳地警部派出所前の交叉点に横断歩道が作られ交通事故の防止に一役果すことになった。
・八月、町では小児マヒの生ワクチンの投与を行ない、また予防接種もひっかけて実施した。
・町は、この八月から二年ぐらいの予定で、土地家屋の再評価を行うことにしている
・一一、一、山口地方法務局徳地出張所の新発足をみる。
・町立堀中学校は、さきの全国コンクールで環境緑化で日本一となり、文部、農林両大臣から表彰を受けた。

昭和三十七年
・一、新庁舎に移転し事務を開始した。新庁舎は総工費約四千万円で、高藤建設KKの請負施工である
・二、一二、新庁舎移転とともに町民課を新設、窓口サービスを強化した。
・七、一、参議院議員選挙施行される。
・八、九～一〇両日、町政史上初期的事業であったNHK夏期移動相談が開催せられ、延一万九千人の大衆が参加絶大の成果を収め閉幕した。
・九、一二、防石鉄道存続期成同盟会結成せらる。
・九、二五、町議会で国民健康保険税の減税が決められた。
・一一、九、島地、藤岡島一氏は、日赤本社に多額の寄附をした功により金色有功章を授与された。
・一一、一四、町議会で、助産費二千円（旧五百円）給付に条例が改正せられた。
・全日、八坂地区の岡崎亜輔氏は、民生委員、保護司などの功績により紺綬褒章を授与せられた。
・一二、一、農業委員会々長に山崎良一氏選任せらる。
・一二、二五、年末町議会で、町議選挙区の小選挙区制を改め次回より全町一選挙区の大選挙区制に改められた
・一二、二七、八坂分団地域にジープ型消防車を購入配置。

昭和三十八年
・一、六、未曽有の豪雪により、串中屋体が倒潰、そのほか一般の家屋、交通などに甚大な雪害をもたらした
・一、一二、従来からあつた堀、島地、八坂の三商工会が母体となり、徳地町商工会が発足した。
・町は四月、道路台帳の改製整備を行ない、八月町報で公表
・全月の県議選で柳井勇夫氏当選
・四、三、島地公民館落成（工費六八〇万円）
・五月、島地温泉予定地にボーリングした結果、有望と判明した。
・基幹林道仏峠線の建設決定さる。
・五月、一九、税制刷新協議大会で、町税の調新と完納が決議される。
・七、七、堀、大原局と防府、富海、大道、奈美局間に即時通話開始さる。
・七、一〇、夕刻、柚野地区に集中豪雨があり、四千万円にのぼる被害をもたらした。
・町は、三七、三八の二年度にわたり、国体記念事業として、造林、道標、小学校寄宿舎など建設することを決定した。
・七、一七、柚野小学校野谷分校は、三月末で八坂小に統合されたが、その廃校式が現地で行われた。
・全日、町報第火弁場の火入式が行われた。
・九、一六、基幹林道仏峠線の起工式挙行、この林道は、約一二キロにおよぶ自動車道路で、山口、島根両県にまたがる三千ヘクタールの山林開発や物資交流に大きく貢献することが期待される。
・九、二五、町議会で、農業構造改善事業協議会条例、税制刷新委員会条例など議決された。
・全日、教育委員（松田美雄氏）の後任に片山胖氏が選任された。
・一〇、一八～一九の両日、防府市より受けついだ国体旗が婦人会の花いっぱいに飾られた沿道を縦走し、阿東町に引継がれた。
・八坂中三年生、末富君代さんら三名が、人命救助の功績により県警察本部長より表彰せられた。
・一〇、二四、徳地名店会（二九店）発足。
・一一、八、町内小中学校の児童生徒による科学技術美術教育振興展が開催せられた。
・八、農家の主婦を対象に経営教室を開設
・一、県下の消防団員の不足を補うため役場に消防分団を設置した。
・八、一九、農林部長迎えて親子教室、農政懇談会を開催された。
・八、二〇、から農地報償制度に基づく申請の受理を開始した
・九、一五現在、町内で今年八十八才の米寿を迎えられる人一〇人、七〇才以上の老人一、〇五一人と発表された
・八、三〇、伊賀地小の特別教室、柚野中の寄宿舎などの起工式
・本年七、一日標に農協合併が打ち出された。
・三九年度当初予算額が二億四千五十万円ときまる
・町政史上空前の防石鉄道営業廃止に同意した
・四、二五、町出身、第一回戦没者叙勲が発表、伝達された
・四、二六、町道神の原橋完成する（工費九〇五万円）
・四、全月八坂公民館落成
・五、八、大原郵便局が火災で焼失
・五、一四、第二回栄養教室修了
・五、一五、農業委員会委員選挙は、無投票で当選者きまる
・本年四月より大原西、一帯の山林が休猟区に指定せられた。
・六、二五～三七までの連続雨量二九六ミリ、五千万円の被害をもたらした豪雨禍があつた。
・三〇、防府～堀間二、八八キロの防石鉄道がいよいよ営業を廃止し、四十数年にわたる歴史の幕を閉じた口であった。
・七、一、徳地町農業協同組合が成立、初代組合長理事に旧出雲農協組合長の林実三氏が選任された。
・二一、佐波川下流で行われた山口県総合防災訓練に町消防団より三十名参加活躍した。
・八、三〇、八坂婦人会では、母と子のつどい大会を開催
・九、六、山口県知事選挙執行される。
・九、一六、串中屋内体操場竣工式
・水稲の新品種アリアケ、ビール麦の新品種、成城十七号できる。
・九、一七、駐在員設置条例を制定し、任期一年とされた。
・全日の選会で、防石鉄道線路敷の寄附採納が議決された。
・一〇、五、大原湖などにコイの稚魚七千尾を放流した。
・一一、二、佐波営林創立二十周年記念式典挙行される。
・一二、二二、防石鉄道跡を主要町道に編入、路面改修おわる。

昭和四十年
・一、八、串地区侍望の安養地～鯖間に防長バス開通す。
・二、一〇、交通安全町を宣言
・二、二〇、多額寄附の功で柚野地区、戸田岸盛氏に対し、緑綬褒章が授与された。
・三、一〇、町長選挙は無投票をもつて長嶺政男氏の再選が確定
・三、二〇から十日間町議会が開かれ、当初予算二億六千九三〇万円、国民健康保険税の増徴などが議決せられた
・三、三〇、町立図書館では、周徳伝聴記を刊行する。
・五、一二、第三代町議会議長に坂本錦介氏選ばれる。
・三九、四〇の二年継続事業として、事業費千五〇〇万円を投じ町営放牧場を長者ガ原（台山）に建設のため、三二町歩の開墾に着手する。
・六、二九、町議会で、振興対策審議会条例、島地温泉の開発協助、町有林管理経営計画などきまる。
・七、四、参議院議員選挙では、七二、三四%の投票率をあげた。
・五、農村後継者養成のため親子教室を開設

歳末助けあい運動に
ご協力をお願いします

年中行事の一つになっていますが、年末を間近にひかえて、恵まれない人々に対し、温かい愛の手をさしのべ、みんなそろって明るい正月を迎えられるようにしようということで、十二月中を「社会福祉月間」として、例年どおり「歳末助けあい運動」を展開し、皆さんの社会福祉に対する関心と理解を高めご協力をお願いしたいと思います。

町内には、まだたくさんの不幸な方々が、この寒空に暗い気持ちで暮しておられる方々がありますこの方々に年末の温かい血の通つた贈り物をして、共に明るい新春を迎えていただくようというわけです。

集まつたお金や品物は
1 生活困窮者の援護
2 児童施設入所者への激励と見舞
3 養老院入院者の慰問激励
4 長期入院患者のお見舞
このように十分有意義な使途が計画実施せられます。

町民皆さま方の温かいご協力をお願いいたします。

徳地町
主催 徳地町社会福祉協議会
徳地町民生委員協議会

愛の花束

一金、一〇、〇〇〇円
これは、元監査委員、故津室唯ちやんが、ひろつた金を時効でもらつたのを寄附したもの
一金、一〇、〇〇〇円也
これは、藤木、故山本新一氏のご芳志をいただき厚くお礼申しあげます。
ご意志を体して、有効に使用させていただきます。
一金、五、〇〇〇円也
これは、上村、故小田彦治氏の香典返しとして、小田香氏より寄附
一金、一、〇〇〇円
これは、佐波高校家庭クラブ員一同より寄附
一金、二、〇〇〇円也
これは、国勢調査の山口県人口の懸賞募集に応募、見事一等賞を獲得した八坂、河村シゲ子さんより寄附

編集だより

本号は、町制施行後十年の歴史を年譜の形で編集しました。この歴史を足場として、明日からの町勢発展に努力しましょう。